

3・11 伊・メディア 大げさな報道

皆の心配 振り切って帰道 マリアンナ・チェスパ

私は3月11日にイタリアにいました。翌日日本へ発つ予定だったので、準備で忙しい一日を過ごすはずだったんですが・・・朝7時、日本の携帯電話に「地震が長かったですねー大丈夫？」というメールが来ました。えー？と思って、テレビをつけ、映画を見ているような光景に言葉を失いました。すぐ東京にいる友達、札幌にいる友達にメール。多くの返事が一時間以内に来ましたが、千葉県に住んでいる友達からの返事がすぐには来なかったの、私はとても心配しました。

私が日本にいるのかイタリアにいるのか、と確認していた友達や知り合いから電話がたくさんきて、家の電話は朝からずっと鳴っていました。私はみんなに「大丈夫です！私も日本も大丈夫です！」と言いましたが、心が痛かったです。

この地震で飛行機がキャンセルになり、一週間遅れて出発することになりましたが、その後に福島原発の事故があり、予定がもう一度変わりました。親も心配



していたし、叔父さんもあんまり元気じゃなかったし・・・一週間遅れても大丈夫と思っていたんですが、その一週間が辛かったです。なぜかというと、イタリアに報道されている情報によると、日本はひどい状態になっていたからです。それは事実で

すが、イタリアの情報は明らかに実際よりひどく、何でも大げさに語られてしまいました。

私は日本に来てもう3年目に入り、日本の社会や文化がわかっているの、メディアが言っていることをあまり信じません。東京にいる友達は、いつものような生活していると言ったので私は安心しました。しかし、テレビだけ見る人々にとってはテレビの言うことが正しいのです。私がいくら反対して「違う！」と言っても、一人も信じてくれませんでした。

大手紙も 食べ物消えたスーパー 東京は総避難

一番ひどかったのはある記者が書いた記事です。地域新聞ではなく、全国の新聞の中で2位の「La Repubblica」なのでビックリしました。プロ?!その記事によると、全ての日本人が東京から逃げたり、スーパーには食べ物が何もないなどという状態でした。皆が逃げているので電車に乗ることもできないところを見せる写真もありましたが、そんな写真は東京では毎日撮れます!!私はラッシュアワーに電車に乗る経験があるので、記事の内容に強く反対しました。

それだけではなく、日本人がマスクしていることも話題になりました。私は花粉症のためだと分かっていますが、イタリアではマスクする習慣がないのでみんなは誤解してしまいました。放射線のためだと・・・(涙)

この場合も、私の説明は無視されました。日本に戻

りたいためにそう言っているとわれ、辛かったです。両親も日本に来たことがあるのでテレビや新聞報道をあまり信用しなかったのですが、心配していました。

結局、私は家族以外誰にも何も言わないで出発することを決め、日本に着いてから友達に連絡しました。「バカ!」「わがまま!」などと言われましたが、私は札幌が安全だと思うし、これが私の人生だし・・・

ローマ空港でも面白いことがありました。アリタリア航空のスタッフは「本当に日本に行きますか?危ないですよ。考え直してください!」と言いました(笑)「いいえ、私は日本に戻りまーす!!」と答え、いよいよ出発しました。長旅だったんですが、日本に戻って来てよかった!! 頑張れ日本!!

(会員 イタリア語教室講師)

3月11日「東日本大震災」におきまして、被災された方々、ご家族の皆様にお見舞い申し上げるとともに、お亡くなりになられた方々に心よりご冥福をお祈り申し上げます。

北海道二期会オペラ「愛の妙薬」の公演の前日に大震災、津波が起き、果たして初日の幕を上げられるだろうか、とかなりの戸惑いと不安を感じながら……と言うのも、どこのイベントも中止と言う状態の時。でも私達はお客様に、いつでも心癒していただく！こういう時にこそ、私達は公演を執行せねばならない……と決心。3月12日、13日舞台の幕を開けたのです。

一生に一度出合ってしまった今回の強烈な大震災！

あまりの酷さに目を覆う。涙を流し、どんなに同情しても何も出来ない惨めさ！

巨匠指揮者 ズービン・メータ氏が、東日本大震災「被災者支援チャリティーコンサートのために単身で来日し、N響とベートーベン「交響曲第9番」を演奏し、「来年の桜は少しでも明るい気持ちで眺められます様に」と結び、人々の心を感動させました。それはそれは長い黙祷の心意気が含まれて！私は音楽仲間たちに、芸術音楽の素晴らしさ、そして魅力は我々は永遠に追い求めるであろう！……と大声で言ったのです。

あれから3カ月も経った札幌も、魅力ある新緑の素晴らしさに溢れる時節となりました。

この札幌の土地に住んでいる幸せ感を、今改めてかみしめ、味わう喜びをしみじみ感じております。

「みべ音楽院」は昭和61年（1986年）10月に創立しました。大通西14丁目、みふじビル。現在も同じです。設立当時の様子がつい先日の様に蘇っております。「我われの大好きであったドイツにとっても似ている」と主人は言い、私の故郷、札幌を選んだのです。

私達夫婦が研鑽を積んだ、ローマ、ウィーン、ビュルツブルグの15年間を不十分なが

人生！音楽の旅 ⑩

三部 安紀子

「みべ音楽院」開く

欧州での研鑽 伝えたい一心で

ら若い人達に伝えられれば……という思いから、みべ音楽院を開きました。勿論その基底には、若い人達が声楽を学ぶに当たっての苦悩、不安を救う役目をし、若い人達の理想を少しでも叶えたい……そんな願望で帰国しました。

そして1年後、大通西14丁目にみふじビルを建設、みべ音楽院の看板を建てたのです。音楽仲間を果たして来てくれるだろうか……と心配しながらの出発！でも幼い時からの多くの友人達に助けられ、様々な素晴らしい出会いの方々に支えられなが



ら25年を経て今回、7月1日教育文化会館大ホールを会場に、第259回札幌市民劇場として創立26周年記念コンサート（ポスター写真上）を開く事ができます。出演者は100人ほど。歌曲、オペラのほか、私が指揮する弦楽アンサンブルもお聴かせします。この日は20年前に亡くなった主人の命日でもあります。25年の間のさまざまなシーンが甦ってくるでしょう。

道中、楽しい事、嬉しい事、悲しい事、辛い事ありましたが、大勢の歌の仲間達に囲まれながら、かけがいのない月日を過ごすことが出来、心から幸せに思っております。

（会長、北海道二期会理事長）

総会・サローネは7月8日(金) 18時30分 札幌グランドホテル

帰省中のランベッリ教授の講演があります。演題は「イタリアの原子力問題」を予定。

創成川公園オープン

親水・・・安田侃さんの彫刻

札幌・大通公園のさっぽろテレビ塔から南3条の狸小路にかけて「創成川公園」が4月1日オープンしました。全長820m、面積14,000㎡、全7ブロックからなり、主要ポイントに設置された当会会員の安田侃さんの大理石彫刻4体が魅力的です。「狸2条広場」が狸小路と二条市場間をつなぎ、移動もスムーズです。



南3条(左)、南1条(上)、大通(下)



みへ音楽院 創立25周年記念コンサート

Concerto di Memoria (10、11面参照)

7月1日(金) 開場 17時45分 開演 18時15分 札幌市教育文化会館大ホール 入場料 2500円

編集後記 東日本大震災・フクシマ震災の復旧・復興が遅々として進まず、政治の混迷は目を覆うばかり。その中で道内は、被害が太平洋岸の一部に限られ、むしろ「被害なし、影響なし」を強調して観光客の呼び込みに懸命です。その外国は、3・11当日イタリアにいたマリアンナさんから事務局への連絡で、日本全体を被災地と見ていることが分かりました。勇気ある帰道に踏み切った報告から、メディアの報道の影響の大きさがよく分かります (K)